キーン・センターが開館

情報発信の拠点に

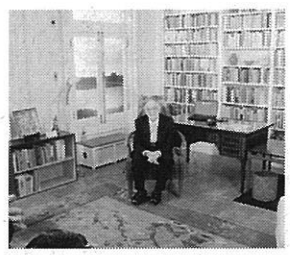
日本に永住したドナルド・キーン博士の業績を顕彰する記念館が昨年9月開館し、ドナルド・キーン・センター柏崎と名付けられた。センターは、延べ736平方メートル。博士が30年にわたりすんだニューヨークの自宅書斎を正確に再現したホールをはじめ、「人となり」「作品」「業績」を映しだすメーン展示ホール、博士の思いを伝える大型映像ホール、検索コーナーなどを備えている。深く関わった川端康成ら多くの日本文学者との交流も展示され、日本文学の神髄を紹介する一大センターといえる。開館式にはキーンさんも出席し「皆さんの好意で立派な記念館が開所し、非常にうれしい」と喜びを語った。開館に至る経緯とキーンさんと柏崎の結びつきについて公益財団法人ブルボン・吉田記念財団の理事である吉田眞理さんにつづってもらった。

ブルボン・吉田記念財団理事　吉田　眞理

中越沖地震から一か月半、ドナルド・キーン先生御提案の古浄瑠璃「越後国柏崎・弘知法印御伝記」復活上演の企画が、上原誠己氏から、柏崎に住む私に持ち込まれました。当時原子力発電所出力世界一の柏崎刈羽原発火災を伴う中越沖地震は、世界中から注目される日本全体にとっても危機的な状況でした。「命の儚さ」や「人そして親子の絆」や「人そして親子の絆」を実感させられた出来事でした。そんな中訪れたこの企画は、奇縁の塊でした。

①提案者がドナルド・キーン氏②台本を持ち出したのが有名なドイツ人医師ケンペル③大英博物館に台本が眠っていた④台本発見者が大学院生時代、綾子舞の御研究に柏崎に来られていた鳥越文蔵氏⑤角書きに「柏崎」⑥作品には「哲学」と「宇宙観」⑦タイミング・・・奇跡の塊で、私は身が震えました。

2006年三月、新潟砂丘館で私は上原氏の義太夫節の上演を聞き、その後十月に柏崎飯塚邸で、「柏崎飯塚邸から世界への発信・・美しい自然環境と和の心」と題し、彼の義太夫節に様々な視点とメッセージを込め、市民ボランティアの皆様に支えて頂きながら無事上演を果たしました。その6日後、上原氏はキーン氏の新宿での御講演の楽屋に初めて伺い、今後の自分の進む道の相談をしました。それから一か月後のお正月、古浄瑠璃「越後国柏崎・弘知法印御伝記」の300年ぶりの復活初演の御提案を頂いたのでした。



この古浄瑠璃は、イギリスのケンブリッジ大学に行かれた早稲田大学鳥越文蔵名誉教授が、昭和三十七年に大英博物館で唯一の台本を発掘、一瞥しただけで極めて珍しいものと気付き復刻・出版。キーン氏に贈り、40年ほど前に読んでいらしたのでした。上原氏は六段構成の大曲に節を付け、佐渡の人形遣いの西橋八朗兵衛氏は多くの人形の頭を作りながら、人形の使い手達を一般公募指導し、「越後猿八座」を結成。新たな命を吹き込みながら、飯塚邸義太夫上演のご縁で、上原氏は私の所に相談に来られたのでした。

私は文化芸術に深い霜田文子さんに相談し、彼女は「柏崎ゆかりの古浄瑠璃を復活初演する会」を組織して、二〇〇九年六月、柏崎産業文化会館にて見事に復活初演を成し遂げました。その後、キーン氏は、柏崎でのアベマリア・コンサート&クリスマスディナー御参加や柏崎刈羽原発見学、市長様との会食、鳥越氏との柏崎御講演、更に浜離宮朝日ホールでの古浄瑠璃東京上演を、㈱ブルボンの主催や特別協賛という関わりの中で行いました。

2011年三月、コロンビア大学での最終講義を㈱ブルボンが番組作成の為に同行。更に最終講義の後の日本人に復興の勇気を与え、キーン氏は「時の人」となり、先生のこじんまりした最終御講義は、マスコミの注目により、大きな教室に変更する事になりました。それで㈱ブルボンの吉田社長が「今までの御研究と此の度の帰化発言の意味の深さ、日本という国の恩人として誰かが形にしなければならない」と決意し、「ドナルド・キーン・センター柏崎」構想が始まりました。関東大震災がきっかけとなった㈱ブルボンの創業の精神に重なります。

先代の吉田高章が創設した吉田奨学財団を、今年4月に公益財団法人に変更、この「ドナルド・キーン・センター柏崎」を運営させて頂く事になりました。

飯塚邸での上原氏の義太夫上演、更に古浄瑠璃上演、復興を祈るアベマリア・コンサート等、故郷を愛する市民ボランティアで成し遂げた事がキーン先生との御縁を柏崎に繋ぎました。そして地方の柏崎に本社を構え続け、国家的災害が起きた時には、自社の利益を脇に置いて支援する企業創業の精神に繋がって、更に公益のものとしてセンターがあり、その施設を今、市民ボランティアの方々がキーン氏の人の在り方に響感し、支えて下さっています。

「すみません」と「対不起（トィプチー）」

徳間佳信（高23回）

最近の日中関係の悪化が、私のようなしがない語学教師の仕事にも影響している。東アジアでは国境線を引く習慣がなかったのに、国民国家成立以後のやり方を過去に投影して、あの島はもともとどっちのものだと、ふたつの国の言い分が対立したのがきっかけだ。その是非はともかく、そのあおりを受けて、去年、大学で中国語を選択する学生が激減したのだ。八九年の天安門事件のとき以上、長くやっている人の話だと、今までにない落ちこみだと言う。来年はさらに選択者が減るだろう。中国に関する個人的なリアルを体験する前に、マスコミ報道によって何とはない「嫌中ブーム」が広がり、中国はこわい、関わりたくないというムードが若い人たちにも蔓延したようだ。

中国は日本と距離的に近く、歴史的にも浅からぬ因縁があるので、ともすれば知っているつもりになりがちだ。しかし、それが逆に盲点になっていないだろうか。たとえば、まったく系統の異なる言語なのに、中国は漢字を使う「同文」だという言い方がかつてあった。いまでも高校の漢文で、司馬遷や李白、杜甫の詩などを教わる。この一年は中国ツアーが組めなくなったと旅行会社の人から聞くが、以前は漢詩の舞台を巡る旅というのもよくあった。古典はある程度知っている。だから、見たいものしか見ようとしない。しかし、現代の生きて活躍している中国人を十人挙げられる人は、どのくらいいるだろう。ほとんど挙がらないのは、私が毎年度の授業の初めに、学生に取るアンケートでも明らかである。

そのような盲点はいくらもあって、たとえば、身近なあいさつ言葉ひとつにしても、中国人は謝罪の言葉をめったに口にしないとよく聞く。日本では客が店員に声をかけるのにも、すみませんと言うくらいなので、それを基準にすると、これはかなり理解しにくいことのようだ。そのちがいの理由は、こういうことではないだろうか。「すみません」は負債感情を表わし、いつかそれを「済ます」ことを前提にしている言い方だ。だから、人に何かしてもらったときにも感謝の表現として使えるし、売り手を働かせてすまない、買うことによって「済ます」からというふうにも使える。それが、内乱が長くなかった江戸時代に、争いを避ける文化が発達したこともあって、すまないと言えば、済まさなくても水に流してもらえるようになった。むしろ、いまでは水に流してもらうことを前提にして、謝罪するケースが多いのではなかろうか。かなり軽い言葉ではある。

それに対して、中国語の「対不起」は、直訳すれば「私はあなたと向きあう資格がありません」という意味になる。相手に膝を屈して、自分が一段も二段も下であることを認める言葉である。それを、戦争や内乱の相次いだ社会の中で用いると、相手に首を差しだすことにもなりかねない。事実、この一世紀だけでも、抗日戦争の死者二千万人（統計に基づくはっきりした数字はない）、数さえはっきりしない国共内戦の死者、政策的な失敗による五十九年から三年間の餓死者二千五百万、十年間の文化大革命による一千万人の死者（これも正式な数は発表されていない）等など。他の国なら、千万単位の死者の出る事件は、千年に一度もないだろう。そんな、社会を根底から揺るがす戦争、内乱等が十年おきに引きもきらず起きているのさに汗牛充棟。超越神のない中国では現世がすべてであり、歴史書が聖典のようになっていて、起きたことはけっして忘れない。いや、忘れてはいけないのだ。家族のレベルでも、かつてはどの家にも族譜があって、祖先は数百年も遡れた。自分はどこから来て、どこへ行くのか。中国の答えは、先祖から来て子孫へ行くと、あくまで具体的、現世的である。と、ことは宗教観の問題までからんでしまう。

それらの違いを前にして、性急に相手の価値観の善悪、好悪を論じると、やっかいさはほとんど絶望的なまでになる。互いに耳をふさいで、自分の言い分だけを叫ぶことになりかねない。個人でそれをやるとヘイトスピーチに、政治の「責任者」がやるとショービズムという劣情を煽るのが落ちだ。まだぞろ「暴支膺懲」にならないためにも、若い人たちが言語を通じてじっくり相手を理解していくことは、じつは意外に有効な方法だと思うのだが。

（駒沢大学講師、高23回）

大学合格者状況

（国公立大）北海道1、弘前1、東北4、秋田2、山形5、福島1、茨城2、宇都宮1、群馬2、埼玉3、千葉2、電通1、横国2、富山5、金沢4、信州2、静岡2、名古屋2、三重1、京都2、奈良女2、琉球1、新潟19、上教1、長岡技科1、国際教養2、首都大東京1、新潟県立10、県立看護3、高崎経5名　他

（私立大）慶応1、早稲田3、青山1、学習院2、明治6、立教3、法政10、中央6、東京理科2、同志社1、立命館2名　他

（医学部医学科）名古屋1、山形1、順天堂1、昭和1名。

アジロヤキ
くろようかん
新野屋
新野　京一（高22）
柏崎市駅前一―五―一〇
TEL（二二）二三三七

角田建設株式会社
有限会社　角田不動産
代表取締役　角田　一成（高10）
柏崎市松美一―一一―五一
電話（23）三六三八

郷土のたより
越後タイムス
編集発行人　柴野毅実（高22）
TEL㉓六三九六

新潟清酒
銘酒　越の誉
原酒造株式会社
柏崎市新橋五―一二
東京営業所　板橋区徳丸七―一六―五
TEL（三九三五）一六一一

学校法人　中延学園理事長
佐藤　早苗（高5）
品川区西大井六―一―二三
電話（三七八四）二一三一

総合建設業
東北工業株式会社
代表取締役会長　桑山　雄（高16）
柏崎市鏡町五―一二

弁護士
今井健子（高13）
荒川区西日暮里二―二五―一
ステーションガーデンタワー八〇四号
TEL（三八九一）七五一五

弁護士
高橋巽（高15）
新潟市中央区関新二―一―七三
新潟ダイカンプラザ遊学館三〇七
TEL（〇二五）二三三―七七〇〇